

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会	2,3,4,18,19,22,23,24,28,29,34,43,44,47,50～64,66,67	母子保健・福祉従事者対象研修会 「発達障害児の早期発見と支援」「子どもの心の診療医研修会」「周産期医療研修会」等 目的・内容＝母子保健・福祉従事者の資質向上 対象者及び対象者数＝保健師・助産師・看護師・医師・保育士・検査技術者等 1,350名 開催数(配布数)＝20回 効果＝母子保健従事者の資質向上	2,3,4,18,19,22,23,24,28,29,34,43,44,47,50～64,66,67	母子保健・福祉従事者対象研修会「発達障害児の早期発見と支援」「子どもの心の診療医研修会」「周産期医療研修会」等 目的・内容＝母子保健・福祉従事者の資質向上 対象者及び対象者数＝保健師・助産師・看護師・医師・保育士・検査技術者等 1600名 開催(配布)予定数＝20回
	17～24,28～36,39,42,43,44,51～61	・出産準備、育児支援のための各種教室 ・出産前小児保健指導事業 ・NICU退院児の発育発達フォロー、超低出生体重児のための早期介入プログラム 他 目的・内容＝出産準備、育児支援、発達支援 対象者及び対象者数＝妊産婦、乳幼児とその家族 開催数(配布数)＝(省略) 効果＝・育児支援 ・産前産後の健康管理	17～24,28～36,39,42,43,44,51～61	・出産準備、育児支援のための各種教室 ・出産前小児保健指導事業 ・NICU退院児の発育発達フォロー、超低出生体重児のための早期介入プログラム 他 目的・内容＝出産準備、育児支援、発達支援、産前産後の健康管理等 対象者及び対象者数＝妊産婦、乳幼児とその家族
	17～24,28～36,39,42,43,44,51～61	「日本型」オープンシステム、セミオープンシステム 他 目的・内容＝産婦人科の地域医療機関との連携	17～24,28～36,39,42,43,44,51～61	・「日本型」オープンシステム、セミオープンシステム 他 目的・内容＝産婦人科の地域医療機関との連携による周産期医療体制の強化
	19,51～55	愛育相談所における相談業務 目的・内容＝情緒・行動・発達、育児の問題に関する相談等 対象者及び対象者数＝子ども(乳幼児期～青年期)とその家族 等	19,51～55	愛育相談所における相談業務 目的・内容＝情緒・行動・発達、育児の問題に関する相談等 対象者及び対象者数＝子ども(乳幼児期～青年期)とその家族 等
		情報提供 目的・内容＝ウェブサイト「愛育ねっと」、「母子保健情報」の発行(年2回)、「日本子ども資料年鑑2009」の編集 対象者及び対象者数＝子ども家庭福祉関係の機関、研究者等、母子保健関係の機関、研究者等		情報提供 目的・内容＝ウェブサイト「愛育ねっと」、「母子保健情報」の発行(年2回)、「日本子ども資料年鑑2010」の編集 対象者及び対象者数＝子ども家庭福祉関係の機関、研究者等、母子保健関係の機関、研究者等

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
全国助産師教育協議会	18.24 「妊娠,出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」に関する助産師教育の検討	総会内容 1)教育推進委員会報告:大学院・専攻科、助産師学校での助産師教育の推進 2)教育検討委員会報告:大学における助産実践能力の育成と到達度に関する助産教育評価研究、助産師教育の改善に向けたあり方検討コアコンピテンシー修得の基盤、分娩期のミニマム・リクワイアメントに関する提示の活用性と有効性について 対象者及び対象者数=会場:神奈川県立保健福祉大学 会員校112校、機関会員出席者141名、委任状35名 合計176名、当日参加者数合計184名 開催数(配布数)=1回/年 効果=助産師教育関係者のそれぞれの教育の現場において認識を高め活用することができる	18.24 助産師教育内容の検討	全国助産師教育協議会総会の開催 平成21年6月5・6日(日本赤十字看護大学武蔵野キャンパス) 目的・内容=「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」に関する助産師教育の検討 対象者及び対象者数=全国助産師教育協議会機関会員116校、個人会員354名 開催(配布)予定数=1回/年
	18.24 「妊娠,出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」に関する助産師教育の検討	第34回全国助産師教育協議会研修会 H.21.2.12・13 目的・内容=研修会内容 1)会長講演:「わが国における助産師教育はどうあるべきか」我部山キヨ子先生(京都大学大学院) 2)助産師に必要な新生児心肺蘇生法 内田美恵子先生(長野県立こども病院) 3)シンポジウム:周産期医療の危機に助産師はどう対応すべきか 宮崎雅則氏(厚生労働省) 井上裕美氏(湘南鎌倉総合病院) 加藤尚美氏(日本助産師会) 石村朱美氏(ひなた助産院) 原田節子氏(京都第一赤十字病院) 永原郁子氏(マナ助産院) 4)教育講演:「安心、安全、快適なお産:Family Centered Birthの実現をめざして畑山博先生(足立病院院長) 5)ワークショップ:豊かな助産師教育への取り組み「助産師の技能習得におけるキャリアーラダー」 (1)大学院教育における助産師教育 園生陽子先生(天使大学) (2)新人教育における取り組み阿部智子先生(東大阪市立総合病院) (3)中堅教育における取り組み村田佐登美先生(愛仁会千船病院) (4)中堅以上の教育における取り組み 井上京子先生(大阪府立母子保健総合医療センター) 会場:京都大学百周年時計台記念館大ホール 対象者:全国の助産師教育関係者・一般、参加数:会員96名、非会員89名、学生26名、合計211名 開催数(配布数)=1回/年 効果=助産師教育関係者のそれぞれの教育の現場において認識を高め活用することができる		全国助産師教育協議会 第35回研修会 目的・内容=講演、シンポジウム等 対象者及び対象者数=会員・非会員・学生延べ=200名 開催(配布)予定数=1回/年

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	18,24 「妊娠,出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」に関する助産師教育の検討	全国助産師教育協議会ニュースレター発行 5月25日(59号)、8月25日(60号)、11月25日(61号)、H.21.2月25日(62号) 目的・内容＝記事内容 59号:周産期周辺ニュース 60号巻頭言:助産師教育における多様性と標準性への調和(熊澤美奈好先生)他 61号:ニュース産科医療補償制度 他 62号:ニュース高度な能力をもつ助産師の育成 他 対象者及び対象者数＝配布先:全国助産師教育協議会機関会員、個人会員 配布数:1000部 開催数(配布数)＝4回/年 効果＝助産師教育関係者のそれぞれの教育の現場において認識を高め活用することができる		ニュースレター発行(63号～66号) 目的・内容＝関連記事の掲載 対象者及び対象者数＝全国助産師教育協議会機関会員校、個人会員 開催(配布)予定数＝4回/年、発行部数1000部
社団法人全国保健センター	17,18,19	女性の健康エクササイズセミナー 目的・内容＝女性のライフステージ(思春期・不妊・妊娠・産後・更年期等)に対応した健康づくりの基礎とエクササイズを修得するための研修会を実施する。 対象者及び対象者数＝保健師、助産師、看護師等 60名 開催数(配布数)＝1回3コース(東京都) 効果＝女性の健康づくりについての知識やエクササイズに関する技術の修得を通じ、実践の場で理論的な説明を含めた実技指導を行うことのできる指導員を養成した。		
社団法人全国保健センター	18,19,33,34,35,39,52,54～57,60,61,66	乳幼児の父親向けリーフレット「子育てコラボシリーズ」の制作配布 1父親になるあなたへ2ふたりで一緒に子育て3赤ちゃんからこどもへ 目的・内容＝保健センターでの育児支援として、父親のためのパンフレットを制作配布して、育児における父親役割について知識の普及を図る。 対象者及び対象者数＝乳幼児を持つ父親 配布先:市町村保健センター 開催数(配布数)＝20,000部 効果＝母子健康手帳交付時や両親学級、新生児訪問、育児相談等で利用され、広く一般に、父親役割の知識普及がされた。	18,19,33,34,35,39,52,54～57,60,61,66	乳幼児の父親向けリーフレット「子育てコラボシリーズ」の制作配布 1父親になるあなたへ2ふたりで一緒に子育て3赤ちゃんからこどもへ 目的・内容＝保健センターでの育児支援として、父親のためのパンフレットを制作配布して、育児における父親役割について知識の普及を図る。 対象者及び対象者数＝乳幼児を持つ父親 配布先:市町村保健センター 開催(配布)予定数＝40,000部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	17,18,19	お産のためのエクササイズ 妊産婦体操テキストの制作配布 目的・内容＝分娩準備教育と産後のリフレッシュのための体操テキスト 対象者及び対象者数＝妊婦 配布先：市町村保健センター、病院等 開催数（配布数）＝30,000部 効果＝母子健康手帳交付時や両親学級等で利用され、広く一般に知識普及がされた。	17,18,19	お産のためのエクササイズ妊産婦体操テキストの制作配布 目的・内容＝分娩準備教育と産後のリフレッシュのための体操テキスト 対象者及び対象者数＝妊婦 配布先：市町村保健センター、病院等 開催（配布）予定数＝30,000部
			17,18,19	女性の健康エクササイズセミナー 目的・内容＝女性のライフステージ（思春期・不妊・妊娠・産後・更年期等）に対応した健康づくりの基礎とエクササイズを修得するための研修会を実施する。 対象者及び対象者数＝保健師、助産師、看護師等60名 開催（配布）予定数＝1回3コース（東京都）
日本医師会	18	平成20年度家族計画・母体保護法指導者講習会を開催 平成20年12月6日（土） 目的・内容＝国民が求める最善の医療をめざして ・産科医療の現状と将来展望 対象者及び対象者数＝日本医師会会員、日本産科婦人科医会会員 参加人数：173人 開催数（配布数）＝1回開催 効果＝産婦人科医療の抱える様々な問題について認識を深めることができた。	18	平成21年度家族計画・母体保護法指導者講習会を開催 平成21年12月5日（土） 対象者及び対象者数＝対象：日本医師会会員、日本産科婦人科医会会員 参加人数：250人を予定 開催（配布）予定数＝1回開催予定
	18	母体保護法等に関する検討委員会の開催 目的・内容＝適正な産科診療（妊婦健診、分娩等）について検討を行った。 対象者及び対象者数＝委員：14名 開催数（配布数）＝5回開催	18	母体保護法等に関する検討委員会を開催 目的・内容＝適正な産科診療（妊婦健診、分娩等）のあり方について検討 対象者及び対象者数＝委員：14名 開催（配布）予定数＝3回開催予定
				子ども支援日本医師会宣言 目的・内容＝母と子に関する医療・保健・福祉環境の整備等を推進し、次世代を担う子どもたちが心身ともに健やかに育つようにする

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	17-27	日本看護学会 母性看護領域 目的・内容＝母性看護全般を扱う 周産期看護(妊婦・産婦・褥婦・新生児)、女性のライフサイクル(思春期・更年期を含む)、生命倫理、リプロダクティブヘルス、育児ならびに母性・父性に関する研究など 対象者及び対象者数＝看護職、看護学生 定員900名 開催数(配布数)＝2日 効果＝646名の参加	17-27	日本看護学会 母性看護領域 目的・内容＝母性看護全般を扱う 周産期看護(妊婦・産婦・褥婦・新生児)、女性のライフサイクル(思春期・更年期を含む)、生命倫理、リプロダクティブヘルス、育児ならびに母性・父性に関する研究など 対象者及び対象者数＝看護職、看護学生 定員900名 開催(配布)予定数＝2日
	18	地域の拠点病院における助産センターの推進 目的・内容＝助産センター設置推進プロジェクトの開催、関連団体との連携、助産師外来・院内助産の開設状況などの把握、行政及び文献からの情報収集、公式HP、「協会ニュース」などによる情報提供 効果＝助産師活動に関する用語の定義について、院内助産システムの推進について、事業推進に向けた今後の課題について討議。 平成21年度も引き続き取り組む。	18	地域の拠点病院における助産センターの設置推進 目的・内容＝助産センター設置推進プロジェクトの開催、関連団体との連携、助産師外来・院内助産の開設状況などの把握、行政及び文献からの情報収集、公式HP、「協会ニュース」などによる情報提供
	18,24	研修会「妊産婦の主体性を引き出すファシリテーターの役割」 目的・内容＝妊産婦教室などの教育・運営・ケア提供／他職種との協働／参加型研修体験 対象者及び対象者数＝場合により参加条件付記定員50名 開催数(配布数)＝3日 効果＝51名の修了者	18,24	研修会「妊産婦の主体性を引き出すファシリテーターの役割」 目的・内容＝妊産婦のニーズに応える看護職の役割／参加型学習におけるファシリテーターの役割／参加型学習の体験 対象者及び対象者数＝看護職 場合により参加条件付記 定員50名
	24	助産師外来・院内助産設置推進フォーラムの開催 目的・内容＝助産師外来・院内助産の普及と質向上の推進 開催数(配布数)＝1日 効果＝236名の参加	24	助産師外来・院内助産設置推進フォーラムの開催 目的・内容＝助産師外来・院内助産の普及と質向上の推進 開催(配布)予定数＝1日

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	24	『医療機関における助産ケアの質評価(第2版)』の普及 目的・内容＝1医療機関における助産ケアの質評価(第2版)の普及促進 2医療機関に勤務する助産師の助産ケアの実態把握 対象者及び対象者数＝1— 2全国の医療機関に勤務する助産師 2,000名	26	不妊看護認定看護師の育成 目的＝不妊の問題を抱えたカップルに対して適切なアセスメントを行い、全人的なケアを実施し、その卓越した実践能力を基盤として、他の看護職に対する相談・指導を担う実践力をもつ認定看護師候補を育成する。 内容＝共通科目90時間、専門基礎科目90時間、専門科目165時間、学内演習/実習255時間(合計600時間) 対象者及び対象者数＝看護職 定員15名 開催(配布)予定数＝6ヶ月
	24	助産師に関する政策提言に向けた活動 目的・内容＝・母体保護法第39条の時限立法改正の実現に向けた活動の推進 ・助産師の必要数に関する検討 ・新人助産師臨床研修制度の確立に向けた活動		
	26	不妊看護認定看護師の育成 目的＝不妊の問題を抱えたカップルに対して適切なアセスメントを行い、全人的なケアを実施し、その卓越した実践能力を基盤として、他の看護職に対する相談・指導を担う実践力をもつ認定看護師候補を育成する。 内容＝共通科目90時間、専門基礎科目90時間、専門科目165時間、学内演習/実習255時間(合計600時間) 対象者及び対象者数＝看護職 定員15名 開催数(配布数)＝6ヶ月		
日本公衆衛生学会			17,18	日本公衆衛生学会 公衆衛生モニタリング・レポート委員会 目的・内容＝22年度から開始の環境省「こどもの健康と環境に関する全国調査」から得られたデータをもとに 公衆衛生的立場から検証する。 対象者及び対象者数＝第68回総会時フォーラムで発表

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
日本助産学会	2,3,9,10,14,15,17~27	研究助成 目的・内容＝わが国の助産学と母子保健の発展を図ることを目的に毎年学術奨励研究ならびに委託研究助成（各30万円、50万円）を行い、研究終了後、冊子を作成し、その成果を広く公表している。委託研究については「健やか親子21」の課題1、2に関連した研究課題について公募する。 対象者及び対象者数＝助産師（研究代表者は日本助産学会会員） 学術奨励研究助成 3件 委託研究助成 1件 開催数（配布数）＝1回 効果＝助産ケア、国際協力に関する研究に対し助成を行い、母子保健の向上に貢献することを目指した	2,3,9,10,14,15,17~27	研究助成 目的・内容＝わが国の助産学と母子保健の発展を図ることを目的に毎年学術奨励研究ならびに委託研究助成（各30万円、50万円）を行い、研究終了後、冊子を作成し、その成果を広く公表している。委託研究については「健やか親子21」の課題1、2に関連した研究課題について公募する。 対象者及び対象者数＝助産師（研究代表者は日本助産学会会員） 学術奨励研究助成2件、委託研究助成2件 開催（配布）予定数＝1回
	17~27,2,3,9,10,14,15	第23回日本助産学会学術集会 目的・内容＝＜メインテーマ＞「助産の質保証－信頼と絆－」 ＜学術集会長＞ 恵美須文枝氏（母子保健研修センター助産師学校2年コース） 特別講演、シンポジウム、フォーラム、公開講座、一般講演等を企画している。 対象者及び対象者数＝助産師、学生、一般 開催数（配布数）＝開催回数 1回 開催日：平成21年3月21日（土）・22日（日） 会場：タワーホール船堀（東京） 参加者：約900名 効果＝学術集会を通して、妊産婦及び新生児へのケア、助産師教育等に関して討議を行い母子保健の向上につながる検討ができた。	17~27,2,3,9,10,14,15	第24回日本助産学会学術集会 目的・内容＝＜メインテーマ＞「助産を育む」 ＜学術集会長＞ 加納尚美氏（茨城県立医療大学教授）特別講演、シンポジウム、フォーラム、公開講座、一般講演等を企画している。 対象者及び対象者数＝助産師、学生、一般 開催（配布）予定数＝開催回数 1回 開催日：平成22年3月20日（土）・21日（日） 会場：つくば国際会議場（茨城）
	24	国際助産協働セミナー 対象者及び対象者数＝助産師、国際保健協力に関心のある方 開催数（配布数）＝開催回数 1回 開催日：平成21年3月20日（金） 会場：タワーホール船堀（東京）第23回 日本助産学会学術集会プレコンgres「国際協力の魅力を語る」 参加45名 効果＝母子保健活動に関して、国際的な視野での活動についての、意識を高めることができた。	24	国際助産協働セミナー（予定） 対象者及び対象者数＝助産師、国際保健協力に関心のある方 開催（配布）予定数＝開催回数 1回
	23,24	スキルアップ研修 対象者及び対象者数＝助産師（日本助産学会会員） 開催数（配布数）＝新生児蘇生法（日本周産期・新生児医学会認定コース「専門」Aコース2回開催 参加61名 会陰縫合術 2回開催 参加57名 効果＝助産ケアの技術の向上につながった。	23,24	セミナー開催 目的・内容＝助産スキルアップ、母乳育児推進のため「NICUIに入院した新生児のための儀乳育児支援セミナー」の開催 対象者及び対象者数＝助産師、看護師 開催（配布）予定数＝開催数2回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	2,3,9,10,14,15,17~27	日本助産学会誌 目的・内容＝1学会誌22巻1号 2学会誌22巻2号 対象者及び対象者数＝助産師、一般（日本助産学会会員）1690部 開催数（配布数）＝平成20年6月1800部発行 平成21年1月1700部発行 効果＝学会誌を通して会員への広報活動を行い、意識の向上につなげた。	23,24	スキルアップ研修（予定） 目的・内容＝助産スキルアップのための研修を行う。 対象者及び対象者数＝助産師（日本助産学会会員） 開催（配布）予定数＝開催回数 2回
	2,3,9,10,14,15,17~27	日本助産学会ニュースレター 目的・内容＝第56号、第57号、第58号 対象者及び対象者数＝助産師、一般（日本助産学会会員）1690部 開催数（配布数）＝平成20年6月1800部発行、平成20年9月1800部発行、平成21年1月1700部発行 効果＝ニュースレターを通して会員への広報活動を行い、意識の向上につなげた。	2,3,9,10,14,15,17~27	日本助産学会誌 目的・内容＝1学会誌23巻1号2学会誌23巻2号 対象者及び対象者数＝助産師、一般（日本助産学会会員）1750部 開催（配布）予定数＝平成21年6月1800部発行、平成21年12月1800部発行
	2,3,9,10,14,15,17~27	「国際助産師の日」ポスター 目的・内容＝日本看護協会、日本助産師会、日本助産学会の3団体輪番制で制作 対象者及び対象者数＝助産師、（日本助産学会評議員、助産関連機関、省庁）149件 開催数（配布数）＝平成21年3月500部発行 効果＝ポスターによる助産師活動のアピール、推進を通じて、一般の人にも母子保健向上に関心を持ってもらう。	2,3,9,10,14,15,17~27	日本助産学会ニュースレター 目的・内容＝第59号、第60号、第61号 対象者及び対象者数＝助産師、一般（日本助産学会会員）1750部 開催（配布）予定数＝平成21年6月1800部発行、平成21年9月1800部発行、平成22年1月1800部発行
			2,3,9,10,14,15,17~27	「国際助産師の日」ポスター 目的・内容＝日本看護協会、日本助産師会、日本助産学会の3団体輪番制で制作 対象者及び対象者数＝助産師、（日本助産学会評議員、助産関連機関、省庁）149件 開催（配布）予定数＝平成22年3月500部発行

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
社団法人日本助産師会	17,18,19,22,23,24,26	助産師対象の研修会の実施 目的・内容＝妊娠・出産における安全性と快適性を目指し、テーマに沿い、以下の研修会を開催した。 1. 助産師外来・院内助産所を始めるために(計75名、東京、大阪で各1回開催) 2. 助産師の救急対応強化のための研修会(計61名、東京で2回開催(一部埼玉)) 3. 助産学臨床指導者および専任教員研修会(31名、東京で開催) 4. 自然分娩セミナー(計48名、岡崎市2回) 5. 東洋医学セミナー(計87名、テーマ別で2回開催) 6. 今、助産所に求められる医療安全管理とは(253名、全国6か所) 7. 開業セミナー(33名、東京で各1回) 8. 助産師のためのリスクマネジメント(49名、東京で各1回) 9. 母子訪問指導者研修会(158名、東京、大阪でテーマ別各1回) 10. 受胎調節実地指導員研修会(13名、東京で各1回) 11. 受胎調節実地指導員ステップアップ研修会(8名、東京で各1回) 12. 自信をつけよう、助産力!!(134名、東京、大阪で各1回) 13. 親子ふれあい研修会(170名、全国7か所で開催) 14. 助産マネジメント力を高めよう! 助産師外来・院内助産所の開設のキーポイント(32名、東京で開催) 対象者及び対象者数＝助産師対象 効果＝いずれの研修会でも受講生の満足度は高く、目的に沿った学習の機会を提供することができた。また、研修によっては、院内助産所を行っている施設での実習や助産所での実習を行うことにより、より効果的な研修を行うことができた。	17,18,19,22,23,24,26	研修会の実施 目的・内容＝妊娠・出産における安全性と快適性を目指し、テーマに沿い、以下の研修会を開催した。 1. 助産師外来・院内助産所を始めるために、2. 助産師の救急対応強化のための研修会、3. 助産学臨床指導者および専任教員研修会、4. 自然分娩セミナー、5. 東洋医学セミナー、6. 医療安全管理研修、7. 助産所開業セミナー、8. 助産師のためのリスクマネジメント研修、9. 自信をつけよう、助産力!!、10. 母子訪問指導者研修会、11. 受胎調節実地指導員研修会、12. 受胎調節実地指導員ステップアップ研修会、13. 不妊カップルに寄り添うための基礎的研修対象者及び対象者数＝助産師 1. 50名×2回、2. 30名×3回、3. 30名、4. 20名×2回、5. 40名×2回、6. 60名、7. 60名、8. 60名、9. 60名×2回、10. 60名×2回、11. 30名、12. 30名、13. 60名 開催(配布)予定数＝1. 東京で2回開催、2. 東京で3回開催、3. 東京で開催、4. 岡崎市2回開催、5. テーマ別で2回開催、6. 東京で開催、7. 東京で開催、8. 東京で開催、9. 10. 東京、大阪で各1回開催、11. 12. 東京で各1コース開催、13. 東京で開催

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	17,18,19,20,21,22,23,24	院内助産所、助産師外来開設支援 目的・内容＝1. 研修会の開催 2. 助産業務自立サポートプロジェクト 対象者及び対象者数＝1. 院内助産所、助産師外来を開設する予定の施設及び助産師を対象に研修会(上記)を開催した。また、施設の管理者・産科師長・副師長を対象にした研修会も行った。 2. 開設を考えている施設や個別からの相談を委員会で受けた。また、ICM(国際助産師連盟)大会に参加し、サポートの実際について、担当委員長が発表した。 開催数(配布数)＝1. 「助産師外来・院内助産所を始めるために」の研修会は東京と大阪で1回ずつ開催。 「助産マネジメント力を高めよう！助産師外来・院内助産所の開設のキーポイント」を東京で開催した。 2. ICM大会はスコットランドグラスゴーで開催された。 効果＝1. 研修会は実践に生かせる内容で、受講者の満足度は高かった。 2. 助産師外来開設支援をした病院の評価としてケアの質の向上や助産師のモチベーションの向上があり、ICMで世界各国に日本の現状を報告することができた。	17,18,19,20,21,22,23,24	院内助産所、助産師外来開設支援 目的・内容＝1. 研修会の開催、2. 助産業務自立サポートプロジェクト 対象者及び対象者数＝1. 助産師対象、2. 院内助産所、助産医外来開設希望の施設及び助産師 開催(配布)予定数＝1. 東京で2回開催、2. サポートプロジェクトは依頼により実施
	18,19	母乳育児の推進、支援 目的・内容＝1. 母子訪問指導者研修会の基礎編・スキルアップ編において「授乳・離乳の支援ガイド」や母子訪問での母乳育児支援に関する研修会を開催した。 2. トラブル時の母乳育児支援ガイドラインを安全対策委員会で検討した。 対象者及び対象者数＝1. 研修会は助産師計158名を対象に実施した。 開催数(配布数)＝1. 東京、大阪で各1回開催 効果＝1. エビデンスに基づく母乳育児の推進を図ることができた。 2. 母乳育児支援ガイドラインについては、引き続き検討していく。	18,19	母乳育児の推進、支援 目的・内容＝1. 母子訪問指導者研修会の基礎編・スキルアップ編において母乳育児支援の研修を組み込み開催 2. 母乳育児支援ガイドラインの作成 3. 母乳育児機能評価の検討 対象者及び対象者数＝1. 助産師対象 開催(配布)予定数＝1. 東京・大阪で開催、2. 特別委員会で作成、 3. 母乳育児機能評価の検討

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	18,19	<p>子育て・孫育て講座の開催</p> <p>目的・内容＝妊産婦及び乳児を育てる親、祖父母を含む家族を対象に、妊娠・出産の話、楽しい子育ての話、おもちゃ・絵本の選び方、離乳食、子どもとのふれあいなどについての講座を開催。2回1コース（奇数月・偶数月）</p> <p>対象者及び対象者数＝妊産婦及び乳児を育てる親、祖父母を含む家族を対象に実施し、計73名が参加した。</p> <p>開催数（配布数）＝平成20年1月より開始 毎月第1金曜日計11回開催</p> <p>効果＝地域貢献事業として開催しており、参加者（親世代、祖父母世代ともに）の満足度は高かった。</p>	18,19	<p>孫育て講座」プログラム及び教材開発並びに助産師指導者育成及び普及事業の実施</p> <p>目的・内容＝独立行政法人福祉医療機構の助成を受けて「孫育て講座」プログラム及び教材開発並びに助産師指導者育成及び普及事業を行う。</p> <p>1. 「孫育て講座」プログラム及び教材開発</p> <p>2. 助産師指導者育成及び普及事業として研修会を開催</p> <p>対象者及び対象者数＝2. 助産師対象</p> <p>開催（配布）予定数＝2. 東京・大阪で開催</p>
	23	<p>「助産所業務ガイドライン」の見直し</p> <p>目的・内容＝平成20年度厚生労働科学研究費補助金（特別研究事業）の助成を受け、「助産師と産科医の協働の推進に関する研究」（主任研究者：池ノ上克 宮崎大学教授）の分担研究「助産所業務ガイドラインの見直し検討」（分担研究者：近藤潤子 日本助産師会会長）として「助産所業務ガイドライン」の見直しを行った。</p> <p>効果＝実施から5年目を迎えた「助産所業務ガイドライン」の見直しを研究として実施できた。正式承認後、今後さらなる普及と活用を図る必要がある。</p>	18,19	<p>子育て・孫育て講座の開催</p> <p>目的・内容＝妊産婦及び乳児を育てる親、祖父母を含む家族を対象に、妊娠・出産の話、楽しい子育ての話、おもちゃ・絵本の選び方、離乳食、子どもとのふれあいなどについての講座を開催。2回1コース（奇数月・偶数月）</p> <p>対象者及び対象者数＝妊産婦及び乳児を育てる親、祖父母を含む家族対象 1回につき先着25組</p> <p>開催（配布）予定数＝毎月第一金曜日午後</p>
			23	<p>「助産所業務ガイドライン」改定版の普及・活用推進</p> <p>目的・内容＝1. 「助産所業務ガイドライン」改定版の発行・頒布</p> <p>2. 機関誌や研修会等での広報を行い、普及、活用の推進を図る。</p> <p>対象者及び対象者数＝1. 助産師、医師、ほか、2. 会員（特に開業助産師）</p>
				<p>女性のための性教育講座の新規開講</p> <p>目的・内容＝女性のための性教育講座を数回開催する。</p> <p>対象者及び対象者数＝性成熟期にある女性</p> <p>開催（配布）予定数＝東京で数回開催予定</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
日本赤十字社	24	助産師養成 目的・内容＝助産師の確保及び育成のため。 対象者及び対象者数＝助産師を志す学生（平成20年度の国家試験は62名受験で62名合格） 開催数（配布数）＝1助産師学校及び赤十字学園管轄下3大学・1大学院にて運営。	24	助産師養成 目的・内容＝助産師の確保及び育成のため。 対象者及び対象者数＝助産師を志す学生 開催（配布）予定数＝1助産師学校及び赤十字学園管轄下3大学・2大学院にて運営。
	17,18,19,35,36	妊産婦健康相談の実施 目的・内容＝妊産婦の健康管理体制の醸成のため。 対象者及び対象者数＝患者様及びそのご家族 開催数（配布数）＝全国で49赤十字医療施設にて実施	17,18,19,35,36	妊産婦健康相談の実施 目的・内容＝妊産婦の健康管理体制の醸成のため。 対象者及び対象者数＝患者様及びそのご家族 開催（配布）予定数＝全国で49赤十字医療施設にて実施。
	17,18,22,28,29,30,31,42,59	総合周産期母子医療センター 目的・内容＝周産期医療の充実のため。 対象者及び対象者数＝患者様及びそのご家族 開催数（配布数）＝全国で8赤十字医療施設にて設置。	17,18,22,28,29,30,31,42,59	総合周産期母子医療センター 目的・内容＝周産期医療の充実のため。 対象者及び対象者数＝患者様及びそのご家族 開催（配布）予定数＝全国で8赤十字医療施設にて設置
	17,18,22,28,29,30,31,42,59	地域周産期母子医療センター 目的・内容＝周産期医療の充実のため。 対象者及び対象者数＝患者様及びそのご家族 開催数（配布数）＝全国で23赤十字医療施設にて設置。	17,18,22,28,29,30,31,42,59	地域周産期母子医療センター 目的・内容＝周産期医療の充実のため。 対象者及び対象者数＝患者様及びそのご家族 開催（配布）予定数＝全国で23赤十字医療施設にて設置。
	17,18,28,30,31,32,33,35,36,42,52,54,58	両親学級の開催 目的・内容＝妊産婦の出産・育児に関する学習会の場を提供するため。 対象者及び対象者数＝患者様及びそのご家族 開催数（配布数）＝全国で60赤十字医療施設にて実施。	17,18,28,30,31,32,33,35,36,42,52,54,58	両親学級の開催 目的・内容＝妊産婦の出産・育児に関する学習会の場を提供するため。 対象者及び対象者数＝患者様及びそのご家族 開催（配布）予定数＝全国で60赤十字医療施設にて実施。
社会福祉法人 日本保育	19,52,53,55	育児電話相談「ママさん110番」 目的・内容＝子育て不安の軽減のため、元保育園長、小児科医、看護師等による育児電話相談を実施 対象者及び対象者数＝育児中の保護者等 開催数（配布数）＝月～金曜日10:00～16:00 効果＝主に乳幼児の母親の育児不安等の軽減	19,52,53,55	育児電話相談「ママさん110番」 目的・内容＝子育て不安の軽減のため、元保育園長、小児科医、看護師等による育児電話相談を実施 対象者及び対象者数＝育児中の保護者等 開催（配布）予定数＝月～金曜日10:00～16:00

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
日本母性衛生学会	24	第49回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝招請講演「若き保険医療従事者へのメッセージ」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 2000名 開催数(配布数)＝1回開催(千葉県) 効果＝医療従事者の資質の向上に向けた情報提供となった。	23,24	第27回千葉県母性衛生学会学術集会 目的・内容＝特別講演「産科医療補償制度について」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 開催(配布)予定数＝1回開催(千葉県)
	17,24	第49回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝教育講演「胎児心拍数図の新しい定義」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 2000名 開催数(配布数)＝1回開催(千葉県) 効果＝胎児心拍数図の読み方の基本や定義についての知識の普及により、周産期医療従事者の資質向上につながった。	23	第27回千葉県母性衛生学会学術集会 目的・内容＝教育講演「『産婦人科診療ガイドライン 産科編2008』について」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 開催(配布)予定数＝1回開催(千葉県)
	17,18,23	第49回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝教育講演「産婦人科診療ガイドライン－産科編2008」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 2000名 開催数(配布数)＝1回開催(千葉県) 効果＝ガイドラインの紹介により、産婦人科医療安全性の向上、患者-医療者間相互理解の助長、周産期医療における助産師の役割増大について考えることができた。	24	第10回山梨母性衛生学会学術集会 目的・内容＝特別講演「新しい胎児心拍数陣痛図の判定方法と取り扱い指針」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 開催(配布)予定数＝1回開催(山梨県)
	25,26	第49回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝教育講演「周産期における遺伝カウンセリング」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 2000名 開催数(配布数)＝1回開催(千葉県) 効果＝遺伝カウンセリングに関する情報提供により不妊専門相談センターの整備や機能向上を考える一助となった。	22,23,24	第50回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝特別講演「世界最高水準の母子保健を維持するために」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 開催(配布)予定数＝1回開催(神奈川県)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	25,26,27	第49回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝教育講演「生殖医療の課題と展望」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 2000名 開催数（配布数）＝1回開催（千葉県） 効果＝生殖医療技術によってうまれている子どもの将来や基本的人権について考えることができた。	22,24	第50回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝特別講演「産科における医療人偏在への対策」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 開催（配布）予定数＝1回開催（神奈川県）
	17,22,23	第49回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝教育講演「日本のお産は安全ではない」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 2000名 開催数（配布数）＝1回開催（千葉県） 効果＝日本の周産期医療が抱える問題を提起し、周産期医療体制ピラミッドに関する政策に警鐘をならした。	22,24	第50回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝教育講演「IT活用による医療連携」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 開催（配布）予定数＝1回開催（神奈川県）
	17,23	第49回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝教育講演「妊娠と血栓症」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 2000名 開催数（配布数）＝1回開催（千葉県） 効果＝産婦人科領域における静脈血栓症についての調査結果から、予防対策の推進など重要課題の提示につながった。	25,26,27	第50回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝教育講演「生殖医療最前線と倫理的課題」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 開催（配布）予定数＝1回開催（神奈川県）

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	17	第49回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝メインシンポジウム「Safe Motherhood」 1「The 49th Annual Meeting for Japan Society of Maternal Health」 2「WHO and safe motherhood」3「IPPF and safe motherhood, SRH and adolescent health」 4「Safe Motherhood」 5「An Overview :Addis Ababa Fistula Hospital' s Fight with Obstetric Fistula」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 2000名 開催数(配布数)＝1回開催(千葉県) 効果＝国連人口基金(UNFPA)、世界保健機関(WHO)、国際家族計画連盟(IPPF)、国立成育医療センター、ハムリンフィスチュラRジャパンの各代表が、それぞれの立場から妊産婦死亡の減少に向けた取り組みと課題を提示する機会となった。	24	第50回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝教育講演「助産師のキャリアアップ」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 開催(配布)予定数＝1回開催(神奈川県)
	22,24	第49回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝シンポジウム「助産師の役割を拓く」 1「助産師外来からパースセンターへ」2「産婦人科医療科医療過疎地域での助産師の役割－助産師とITを軸とした新しい地域連携システムの構築－」3「産後の養生院」4「産後うつへの支援における助産師の役割」5「地方行政との新たな連携」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 2000名 開催数(配布数)＝1回開催(千葉県) 効果＝ITの有効利用のシステムや、産後の養生院の実践報告がなされた。産後うつへの支援の時期と方法、助産師の役割について具体的に討議する機会となった。	24	第50回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝招聘講演「Promoting Maternal health and Midwifery in Asia」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 開催(配布)予定数＝1回開催(神奈川県)
	25,26,27	第12回佐賀母性衛生学会並びに学術集会 目的・内容＝特別講演「生殖医療を受ける対象者へのケアの方向性」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 200名 開催数(配布数)＝1回開催(佐賀県) 効果＝生殖医療に関する情報提供と看護の方向性を討議する機会となった。	22,24	第50回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝メインシンポジウム「周産期におけるチーム医療」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 開催(配布)予定数＝1回開催(神奈川県)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	17,18,22,23,24	第20回兵庫県母性衛生学会学術集会 目的・内容＝特別講演「兵庫県周産期医療システムの変遷－兵庫のお産はどこへ向かうのか－」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 200名 開催数(配布数)＝1回開催(兵庫県) 効果＝兵庫県の現状と周産期医療ネットワークのあり方を考えることができた。	17,20	第50回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝シンポジウム「新たな妊婦健診体制の構築に向けて～母子健康手帳の改訂と妊婦健診体制の充実を図る～」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 開催(配布)予定数＝1回開催(神奈川県)
	17,18,22,23,24	第25回山口県母性衛生学会学術講演会 目的・内容＝教育講演「周産期医療の実際」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 200名 開催数(配布数)＝1回開催(山口県) 効果＝周産期医療の現状や課題を知ることができた。	23	第50回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝シンポジウム「エビデンスからガイドラインへ」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 開催(配布)予定数＝1回開催(神奈川県)
	24	第25回山口県母性衛生学会学術講演会 目的・内容＝特別講演「“母になること”の現場取材30年を通して今、伝えたいこと－医療のプロの方々への言葉力への期待－」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 200名 開催数(配布数)＝1回開催(山口県) 効果＝言葉力という視点から医療者の資質の向上を考えることができた。	23,24	第50回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝実践講座「モニタリング」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 開催(配布)予定数＝1回開催(神奈川県)
	24	第40回徳島県母性衛生学会 目的・内容＝特別講演「医師不足と産婦人科医療の将来」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 200名 開催数(配布数)＝1回開催(徳島県) 効果＝産婦人科医療の担い手の確保および適正配置について考えることができた。	24	第50回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝実践講座「新生児蘇生 知ろう、練習しよう、復習しよう」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 開催(配布)予定数＝1回開催(神奈川県)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	24	第40回徳島県母性衛生学会 目的・内容＝記念講演「徳島県の周産期医療の現状と課題」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・ 栄養師・養護教諭・学生等 200名 開催数(配布数)＝1回開催(徳島県) 効果＝徳島県の現状と課題について理解を深めることができた。		
	25,26,27	平成20年度 宮崎県母性衛生学会総会・学術集会 目的・内容＝市民一般公開講座「不妊生殖医療－過去・現在と未来」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・ 栄養師・養護教諭・学生等 200名 開催数(配布数)＝1回開催(宮崎県) 効果＝生殖医療の歴史と現在の状況および課題について理解を深めることができた。		
	24	第21回 鹿児島県母性衛生学会 目的・内容＝教育講演「助産師外来、院内助産院を開設して」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・ 栄養師・養護教諭・学生等 200名 開催数(配布数)＝1回開催(鹿児島県) 効果＝助産師外来・院内助産院開設の実際について情報を共有することができた。		
	24	第26回千葉県母性衛生学会学術集会 目的・内容＝基調講演「周産期医療の現状と課題」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・ 栄養師・養護教諭・学生等 200名 開催数(配布数)＝1回開催(千葉県) 効果＝周産期医療の現状や課題について、厚生労働省職員からの情報提供ができた。		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	24	第26回千葉県母性衛生学会学術集会 目的・内容＝シンポジウム「千葉県における周産期医療を担う人材確保のための取り組みと今後の展望」1「千葉県の産科医療に係る人材確保の取組みと今後の方向性」2医師の立場からの取組みと展望3社）日本助産師会千葉県支部の取組み4助産師教育の現状から周産期医療を担う人材確保の今後のあり方 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 200名 開催数（配布数）＝1回開催（千葉県） 効果＝千葉県における周産期医療を担う人材の確保を具体的に討議できた。		
社団法人日本産婦人科	17,18	・妊産婦死亡の実態を含む産婦人科偶発事例報告事業の実施及び妊娠・分娩の事例も集積と解析を行い、会員への周知に努めた。 ・妊産婦死亡の実態について、経年的な傾向の変化を検討し、さらに問題点を抽出し妊産婦死亡率の減少に向けた啓発活動を行った。 対象者及び対象者数＝産婦人科医師（日本産婦人科医会会員） 効果＝産婦人科医に注意をうながした。	17,18	・妊産婦死亡の実態を含む産婦人科偶発事例報告事業の実施及び妊娠・分娩の事例も集積と解析を行い、会員への周知に努める。 ・妊産婦死亡の実態について、経年的な傾向の変化を検討し、さらに問題点を抽出し妊産婦死亡率の減少に向けた啓発活動を行う。 対象者及び対象者数＝産婦人科医師、（日本産婦人科医会会員）
	17	厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業「乳幼児死亡と妊産婦死亡の分析と提言に関する研究（主任研究者 池田智明）」に参加し、周産期医療システムの再評価と改善を目的に行うわが国の妊産婦死亡の調査・分析の手法について、協議し決定した。	17,18,23	日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会 産婦人科診療ガイドライン作成委員会に参加し、良質な周産期医療の提供、標準的周産期医療の明確化などを目的とした「産婦人科診療ガイドライン：婦人科編」の作成を行う。 対象者及び対象者数＝産婦人科医師（日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会会員）
	17,18,23	日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会 産婦人科診療ガイドライン作成委員会に参加し、良質な周産期医療の提供、標準的周産期医療の明確化などを目的とした「産婦人科診療ガイドライン：産科編」の作成を行った。 対象者及び対象者数＝産婦人科医師（日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会会員）	19	課題2「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」の幹事団体として運動を推進する。 妊婦・産褥婦のメンタルケアの対応可能な「妊娠・育児に関するカウンセリング機関」を日産婦医会関連団体である「日母おぎゃー献金基金」HPIに継続掲載する。（日産婦医会HPIにリンク） 対象者及び対象者数＝一般
	18	課題2「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」の幹事団体として運動推進を協議した。 効果＝運動を推進	21	「母性健康管理指導事項連絡カード」の啓発を継続 対象者及び対象者数＝一般

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	18	「分娩の安全性」に関して、病診連携、病病連携と共に助産所と医療とのネットワーク作成等について、健やか親子21推進協議会・課題2幹事会を通じて継続的な協議を行った。	22,24	母体救急搬送システムの確立を目指して、総合・地域周産期母子医療センターの設置を推進しつつ整備状況を把握し、産科医師等マンパワー不足解消のため、(セミ)オープンシステム等、実効性のある推進に向けて努力する。 対象者及び対象者数＝産婦人科医師(日本産婦人科医会会員)
	18	パンフレット「新生児聴覚スクリーニング検査のご案内」 目的・内容＝厚生労働科学研究「タンデムマス等の新技術を導入した新しい新生児マススクリーニング体制の確立に関する研究」班が作成した「新生児聴覚スクリーニング検査パンフレット」を会員に配布し周知に努めた。 ・日本耳鼻咽喉科学会がまとめた新生児聴覚スクリーニング後の精密聴力検査施設リストをHP上にリンク 対象者及び対象者数＝[パンフレット配布]都道府県支部を通じ、本会会員へ配付した。 [検査施設リスト]一般 開催数(配布数)＝約5000部 効果＝[パンフレット配布]支部より要望があり、周知の効果がみられた。 [検査施設リスト]情報入手に有効	22	NICUに関する諸問題について、対外広報等により行政に対して後方支援システム(施設)の早期構築の実現に向けて今後も活動する。
	18,19	妊婦・産褥婦のメンタルケアの対応可能な「妊娠・育児に関するカウンセリング機関」を日産婦医会関連団体である「日母おぎゃー献金基金」HPに掲載(日産婦医会HPにリンク) 対象者及び対象者数＝一般 効果＝情報入手に有効	22	周産期の児の予後を改善する目的で、早産予防に関する多施設前向き研究を継続し児の周産期予後の改善点の把握に努める。(日本早産予防研究会： 会長：岡井崇昭和大学教授、 世話人：田中常務理事参加)
	21	「母性健康管理指導事項連絡カード」の周知と普及啓発に努めた。 対象者及び対象者数＝会員、一般 効果＝利用簡便	24	新生児蘇生技術向上のため、NCPR講習会を今年度も開催し、インストラクター等の指導者の育成・普及を行う。 対象者及び対象者数＝産婦人科医師(日本産婦人科医会会員)
	22	産科医師マンパワー不足解消のため、(セミ)オープンシステムや産科医療集約化の意義に関して継続して検討を行った。 効果＝医会会員に対して、概念を周知した。	22,24	産科医師マンパワー不足解消のため、(セミ)オープンシステムや産科医療集約化の意義を引き続き模索し、実効性のある推進に向けて努力する。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	22,24	新生児蘇生技術習得のため、日本周産期・新生児医学会と協調し、新生児蘇生法講習会専門コースを開催した。 対象者及び対象者数＝会員 効果＝インストラクター272名を養成	24	・コ・メディカル生涯研修会開催 産婦人科の看護に携わる人を対象として、医療・看護水準の維持向上を図る目的で、コ・メディカル生涯研修会を開催する。 ・コ・メディカルの知識や倫理意識向上のため、各支部で開催するコ・メディカル研修会を支援する。 対象者及び対象者数＝医療従事者 開催（配布）予定数＝1回・各支部で開催
	22	総合周産期母子医療センター等の設置数把握及びHP掲載 効果＝情報入手に有効	24	全国医師会立看護学校に助産師養成コースの開設を推進するための支援を行う。
	22	安心して出産できる母子保健医療の提供と医療安全の観点から、助産所における分娩管理等について、調査を実施した。 対象者及び対象者数＝会員、医療施設	25	不妊専門相談センター設置の推進のため、現在設置数の把握に努める。
	22	NICUに関する諸問題について、行政における後方支援システム（施設）の早期構築の実現にむけて積極的に対外広報に努めた。		
	22	嘱託医における助産所からの緊急搬送事例等に関する調査の報告書を作成し、都道府県支部に配布した。 対象者及び対象者数＝会員、医療施設		
	22	助産師外来・院内助産所開設施設に関する調査の報告書を作成し、都道府県支部に配布した。 対象者及び対象者数＝会員、医療施設		
	22	周産期の児の予後を改善する目的で、早産予防に関する多施設前向き研究を継続し児の周産期予後の改善点の把握に努めた。（日本早産予防研究会：会長は岡井崇昭和大学教授、田中常務理事が参加。）		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	23	厚生労働科学特別研究「助産師と産科医の協働の推進に関する研究」(主任研究者:宮崎大学池ノ上克教授)の分担研究の研究協力者として研究に参加した。 ・助産師・産科医協働ガイドラインの検討(分担研究者:中林正雄) 研究協力者:石渡・加世木・神谷各常務理事 ・助産所業務ガイドラインの見直し検討(分担研究者:近藤潤子) 研究協力者:神谷・宮崎両常務理事		
	24	・コ・メディカル生涯研修会開催 新生児蘇生法講習会Bコースを開催した。 ・コ・メディカルの知識や倫理意識向上のため、各支部で開催したコ・メディカル研修会を支援した。 対象者及び対象者数＝助産師・看護師50名 開催数(配布数)＝1回・10支部で開催		
	24	ポスター、パンフレット「当院で分娩をなさる皆様へのお知らせ」 目的・内容＝医政局長通知「分娩における医師、助産師、看護師等の役割分担と連携等について」に関する妊婦向けパンフレット及びポスターにより周知 対象者及び対象者数＝都道府県支部を通じ、本会会員へ配付した。・一般		
	24	全国医師会立看護学校の中に助産師養成コースの開設を推進するため、本会支部を通じ支援を行った。		
	25	不妊専門相談センター設置の推進のため、現在設置数の把握及びホームページに掲載し周知に努めた。 効果＝一般市民に対して情報を公開し利用が可能となった。		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	第17回母乳育児シンポジウムポスター 目的・内容＝広くシンポジウムを知らせ、参加を呼びかける 対象者及び対象者数＝関西を中心とした産科施設・保健センターに配布。全国3次、2次病院配布 開催数(配布数)＝2000枚	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	第18回母乳育児シンポジウムポスター 目的・内容＝広くシンポジウムを知らせ、参加を呼びかける。 対象者及び対象者数＝産科施設・保健センターに配布 開催(配布)予定数＝3000枚
	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	第17回母乳育児シンポジウム 交流会向けチラシ 目的・内容＝母親、市民にシンポジウム交流会への参加の呼びかけ 対象者及び対象者数＝大阪の母親、市民、医療者保健センター、子育て支援センター 開催数(配布数)＝5000枚	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	第18回母乳育児シンポジウム交流会向けチラシ 目的・内容＝母親、市民にシンポジウム交流会への参加の呼びかけ 対象者及び対象者数＝北海道の母親、市民、医療者保健センター、子育て支援センター 開催(配布)予定数＝5000枚
	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	第12回、第13回ワークショップ 目的・内容＝母乳育児の理解を深めるために、医療者の少人数によるワークショップ 対象者及び対象者数＝母乳育児を進める施設の指導者、及び実践スタッフ各90名、述べ180名 開催数(配布数)＝開催は2回(第12回新潟県越後湯沢市10月25.26日、第13回島根県松江市 平成21年3月14.15日)	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	WHO Randa Jarudi Saadeh氏講演会 目的・内容＝世界の母乳育児の現状をしり、先進国における母乳育児支援の意味を考える 対象者及び対象者数＝産科医、小児科医、助産師、看護師、保健師、母親、父親等延べ500名) 開催(配布)予定数＝福岡、大阪、東京
	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」認定業務 目的・内容＝17施設申請、書類審査の結果、訪問審査は、13施設で認定は10施設 対象者及び対象者数＝13施設の現地調査 開催数(配布数)＝現地調査延べ56名	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	第13回、第14回ワークショップ 目的・内容＝母乳育児の理解を深めるために、医療者の少人数によるワークショップ 対象者及び対象者数＝母乳育児を進める施設の指導者、及び実践スタッフ各80名、述べ160名 開催(配布)予定数＝開催は2回。第10回愛知県開催10月27.28日、第11回は未定
	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	第4回全国BFH会議 目的・内容＝日本における母乳育児のスタンダードの確立。BFH病院での母乳育児の維持、保護のための討議 対象者及び対象者数＝54のBFH施設および本年認定される施設の責任者、産科、小児科、助産師 開催数(配布数)＝約120名	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」認定業務 目的・内容＝13施設申請、書類審査の結果、訪問審査は、9施設 対象者及び対象者数＝9施設の現地調査 開催(配布)予定数＝現地調査延べ44名

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	第3回先進国BFHI会議出席 目的・内容＝先進国においてBFH認定のコーディネーター会議に出席し、意見交換。 対象者及び対象者数＝運営委員、事務局	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	第5回全国BFH会議 目的・内容＝日本における母乳育児の確立。BFH病院での母乳育児の維持、保護のための討議 対象者及び対象者数＝54のBFH施設および本年認定される施設の責任者、産科、小児科、助産師 開催(配布)予定数＝約200名
	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	糖水・人工乳補充についての検討会 目的・内容＝医学的適応として、母乳以外のものを補足するときの問題を研究。 対象者及び対象者数＝産科医、小児科医	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	糖水・人工乳補充についての検討会 目的・内容＝医学的適応として、母乳以外のものを補足するときの問題を研究。
	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	各地の母乳の会、および、母親グループへの講師派遣や支援 目的・内容＝地域の母乳の会後援、講師派遣、母親たちへの支援（東北母乳の会、青森母乳の会、いわて母乳の会、宮城母乳育児をすすめる会、東京母乳の会、かながわ母乳の会、愛知母乳の会、ぎふ母乳の会、大阪母乳の会、みえ母乳の会、わかやま母乳の会、しまね母乳の会、兵庫母乳・育児の会、高知母乳の会、鹿児島母乳の会など） 対象者及び対象者数＝産科医、小児科医、助産師看護師、保健師、母子保健推進委員、母親、その他 約5000人 開催数(配布数)＝各地30回	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	各地の母乳の会、および、母親グループへの講師派遣や支援 目的・内容＝地域の母乳の会後援、講師派遣、母親たちへの支援 対象者及び対象者数＝産科医、小児科医、助産師看護師、保健師、母子保健推進委員、母親、その他 約5000人 開催(配布)予定数＝各地30回
	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	BFH認定申請希望病院への講演・研修会 目的・内容＝BFH認定のための院内スタッフの研修、BFH認定申請の増加 対象者及び対象者数＝産科施設の産科医、小児科、助産師、看護師他スタッフ300人	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	BFH認定申請希望病院への講演・研修会 目的・内容＝BFH認定のための院内スタッフの研修、BFH認定申請の増加 対象者及び対象者数＝産科施設の産科医、小児科、助産師、看護師他スタッフ 約300人 開催(配布)予定数＝未定
	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	第15回母乳育児シンポジウム記録集発行、販売 目的・内容＝シンポジウムの記録、および広報活動の一環として作成、会員配布、各地の母乳の会、関連学会において販売 対象者及び対象者数＝産科医、小児科、助産師、看護師、他スタッフ、母親等母乳育児に関心のある一般 開催数(配布数)＝約3600部	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	第16、17回母乳育児シンポジウム記録集発行、販売 目的・内容＝シンポジウムの記録、および広報活動の一環として作成、会員配布、各地の母乳の会、関連学会において販売 対象者及び対象者数＝産科医、小児科、助産師、看護師、他スタッフ、母親等母乳育児に関心のある一般 開催(配布)予定数＝約4000部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	「BFHデータブック」出版 目的・内容＝54BFH施設の母乳育児状況を調査し、データブックとして出版し、母乳育児を取り組む施設の参考とする 対象者及び対象者数＝母乳育児に取り組む施設、BFH認定を目指す施設。 開催数（配布数）＝500部	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	「日本における母乳育児成功のための10カ条の実践」作成 BFHデータブック作成 目的・内容＝日本における母乳育児の方法を提示する。BFH施設のデータを発表することで、母乳育児取り組みの三戸となる。 対象者及び対象者数＝産科医、小児科医、歯科医、保健師、助産師、看護師、他スタッフ、母親等母乳育児に関心のある一般市民 開催（配布）予定数＝部数未定
	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	「母乳と虫歯」小冊子、作成・販売 目的・内容＝母乳育児継続のために、障害となっている事柄についての解説、母親支援、子育て不安の解消として解説 対象者及び対象者数＝産科医、小児科医、歯科医、保健師、助産師、看護師、他スタッフ、母親等母乳育児に関心のある一般市民 開催数（配布数）＝初版3000部、増刷3000部	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	ニュースレターを4回、発行 目的・内容＝母乳育児等、情報を提供 対象者及び対象者数＝会員（産科医、小児科医、そのほか医師、助産師、看護師、保健師、栄養士、薬剤師、保育士、一般市民） 開催（配布）予定数＝総計6000部
	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	ニュースレターを4回、発行 目的・内容＝母乳育児等、情報を提供。 対象者及び対象者数＝会員（産科医、小児科医、そのほか医師、助産師、看護師、保健師、栄養士、薬剤師、保育士、一般市民） 開催数（配布数）＝総計6000部		
	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	子ども未来財団研究参加 目的・内容＝「授乳・離乳支援ガイド」の調査及び、カンガルーケアの調査 対象者及び対象者数＝全国参加施設、BFH施設		
財団法人 母子衛生研究	17～19,21	「母子保健教室」開催 目的・内容＝妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発および最新情報の提供。 対象者及び対象者数＝妊婦および家族 9,000名 開催数（配布数）＝56回開催 効果＝妊娠・出産・育児に対する不安の軽減と自信を与えることができた。	17～19,21	「母子保健教室」 目的・内容＝妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発および最新情報の提供。 対象者及び対象者数＝妊婦および家族10,000名 開催（配布）予定数＝年間56回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	17～21,28～39,41～44,58	母子健康手帳副読本「赤ちゃん&子育てインフォ」配布 目的・内容＝妊婦に対する妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発。 対象者及び対象者数＝妊娠届出時に母子健康手帳副読本として妊婦130万人に配布 開催数(配布数)＝全国の市町村等を通じて130万部配布 効果＝妊婦が妊娠・出産・育児に対する正しい知識を身につけることができた。	19,51,54,55	産じょく期母親の健康・育児支援啓発普及シンポジウム 目的・内容＝産じょく期母親の健康及び育児に関する最新の情報提供と支援の推進。 対象者及び対象者数＝保健師、助産師等 150名 開催(配布)予定数＝年間1回
	18	「妊娠期・授乳期ママの栄養miniガイドーあなたの食事はだいじょうぶ？」配布 目的・内容＝妊娠・授乳期の栄養についての正しい知識の普及啓発。 対象者及び対象者数＝妊娠届出の妊婦97.7万人 開催数(配布数)＝全国の市町村等を通じて97.7万部配布 効果＝妊産婦が妊娠・授乳期の栄養について正しい知識を身につけることができた。	17～21,28～39,41～44,58	母子健康手帳副読本「赤ちゃん&子育てインフォ」 目的・内容＝妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発。 対象者及び対象者数＝妊娠届出の妊婦130万人 開催(配布)予定数＝年間約130万部
	18	「ママの食と健康ガイド」配布 目的・内容＝妊娠・授乳期の栄養及び健康管理に関する正しい知識の普及啓発。 対象者及び対象者数＝妊娠届出の妊婦114万人 開催数(配布数)＝全国の市町村等を通じて114万部配布 効果＝妊婦が妊娠・授乳期の適切な栄養摂取と生活管理について正しい知識を身につけることができた。	18	「妊娠期・授乳期ママの栄養miniガイドーあなたの食事はだいじょうぶ？」 目的・内容＝妊娠・授乳期の栄養についての正しい知識の普及啓発。 対象者及び対象者数＝妊娠届出の妊婦97.7万人 開催(配布)予定数＝年間約97.7万部
	17～21,28～39,41～44,52,54,55,58	インターネット「赤ちゃん&子育てインフォ」 目的・内容＝妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発。 対象者及び対象者数＝妊産婦および育児期の保護者 開催数(配布数)＝年間アクセス数250万件 効果＝妊娠・出産・育児についての疑問や不安に関する情報が得られ、育児不安の軽減が図れた。	18	「ママの食と健康ガイド」 目的・内容＝妊娠・授乳期の栄養及び健康管理に関する正しい知識の普及啓発。 対象者及び対象者数＝妊娠届出の妊婦114万人 開催(配布)予定数＝年間約114万部
			19,51,54,55	産じょく期母親の健康・育児支援啓発普及冊子 目的・内容＝産じょく期母親の健康及び育児支援啓発 対象者及び対象者数＝産婦人科病産院等 約4,300か所 開催(配布)予定数＝年間10万4千部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
			17~21,28~39,41~44,52,54,55,58	インターネット「赤ちゃん&子育てインフォ」 目的・内容＝妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発。 対象者及び対象者数＝妊産婦および育児期の保護者等250万人
社団法人 母子保健推進会議	17-19,22,24,28,45,50-55,	平成20年度「健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)」 目的・内容＝目的:健やか親子21の推進、母子保健知識の普及啓発、ならびに地域母子保健事業の推進を図る。 内容:功労者表彰(厚生労働大臣表彰、本会議表彰等)、特別講演「最近の母子保健を取り巻く状況と母推活動への期待」、シンポジウム「母子保健推進員等の活動の実際」等。 対象者及び対象者数＝保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等1500名 開催数(配布数)＝1回開催(福岡県) 効果＝講演、シンポジウムを通して家族の心の支えあい等について考えるとともに、地域母子保健活動に功績のあった個人・団体への表彰。本人、仲間に多大な喜び、自信、意識の向上となった。	15,16,19,30-35,39,40,43,44,50-58,60-63,66	全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会 目的:母子保健推進員の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつながることを目的とする。 内容:全国の母子保健推進員の活動報告 対象者及び対象者数＝厚生労働省母子保健課、自治体母子保健担当者、母子保健推進員、関係団体代表等200名 開催(配布)予定数＝1回開催(静岡県)
	17-19,50-55,61,62,64,66	全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会 目的・内容＝目的:母子保健推進員の活動を周知することにより、母推活動への理解を深め、子育て中の親の育児不安の軽減等へつなげる。 内容:厚生労働省による最近の母子保健の動向と母推活動への期待、WAM調査の速報、市町村で行われている母推活動の報告等。 対象者及び対象者数＝行政母子保健担当者、関係団体、母子保健推進員協議会代表等300名 開催数(配布数)＝1回開催(福岡県) 効果＝母子保健推進員活動の周知は子育て中の親子への支援につながるとともに、全国から関係者が集まることで意見交換の場となった。	2,3,9,10,15,16,19,33,34,35,39,40,50-55,58,62,63,66	母子保健推進員研修会、母子歯科保健研修会 目的・内容＝目的:市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容:虐待予防、子どもの生活リズム、親と子のかかわり、子どもの事故予防、母子歯科保健、食育などをテーマに講演、活動報告。併せて乳幼児の口腔ケア等をテーマに母子歯科保健研修会を併設開催する。 対象者及び対象者数＝母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,150名程度 開催(配布)予定数＝12回開催(佐賀県・山口県・長野県・富山県・長崎県・熊本県・群馬県・鹿児島県・静岡県・白井市・沖縄県・栃木県)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	15,16,18,19,28 -35,50- 55,63,66	「母子保健推進員研修会」・「母子歯科保健研修会」 目的・内容＝目的：市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：虐待予防と支援、子どもの発達と親と子のかかわり、食育の推進、軽度発達障害の子どもの地域での支援、「生後4か月までの全戸訪問事業」、活動報告等。併設して、母子歯科保健をテーマにした研修を行なう。 対象者及び対象者数＝母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,540名 開催数(配布数)＝12回開催：山口県・佐賀県・富山県・長崎県・長野県・熊本県・鹿児島県・群馬県・福岡県・沖縄県・栃木県・豊田市 効果＝母子保健推進員の資質の向上と母推・保健師等の連携を深めることに寄与。母子歯科保健研修会は乳幼児期からの口腔、全身の健康への意識の向上へつながった。	19,50-58,66	子育てピア支援者養成セミナー 目的・内容＝目的：母子保健推進員等を育成・支援する保健師等を養成し、育児不安の軽減や虐待に至る芽を摘み子育て支援すると同時に、自分自身が持つ本来の力を取り戻す 内容：エンカウンターを取り入れ、セルフエフィカシー、ピアカウンセリング等の理論とスキルを実習を中心に学ぶ。 対象者及び対象者数＝保健師、保育士、行政母子保健担当者等 開催(配布)予定数＝平成22年2月(予定)
	18,26,27,52,55, 66	「母子保健・健全育成住民会議」の開催 目的・内容＝目的：住民が主体的に参加することにより、その地域における子育ての問題を洗い出し、情報の共有と連携を図る。 内容：地域における子育て支援の講演など 対象者及び対象者数＝母親・父親の代表、母子保健推進員、保育士等400名 開催数(配布数)＝1回開催(和歌山県) 効果＝子育てにかかわる人が一堂に会することで表出する課題を共有し新しい情報を得ることができた。	2,3,9,10,15,16, 19,33- 35,40,50- 58,63,66	「地域母子保健福祉情報紙—母推さん—」の発行 目的・内容＝目的：地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など。 対象者及び対象者数＝都道府県・保健所・市町村・関係団体等毎月10,000部発行 開催(配布)予定数＝12回(毎月1回発行)
	5,16,17-19,30- 35,43,50- 56,60-63,66	「地域母子保健福祉情報紙—母推さん—」の制作・発行 目的・内容＝目的：地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：厚生労働省、専門職、会員団体による情報提供、地域母子保健活動の実際、本会議主催研修会の報告など。 対象者及び対象者数＝都道府県・保健所・市町村・関係団体等毎月10,000部発行 開催数(配布数)＝12回(毎月1回1日発行) 効果＝行政、専門職からの情報、地域における母子保健活動の実際を広く掲載、毎号多くの反響が寄せられている。	2,3,,9,10,15,19, 34,39,40,50- 55,58,62,63	国際協力 目的・内容＝目的：日本の地域母子保健活動、及び母子保健推進員活動の経験を途上国へ伝え、対象国の母子保健水準の向上に寄与するとともに、日本の母子保健推進員が日頃の活動を客観的に見つけ直し、意識の高揚につなげる。 内容：国際協力機構(JICA)などに協力し、先駆的に母子保健推進員活動を展開する県に視察団の受け入れを依頼し、同県の母子保健推進員等との交流を図る。 対象者及び対象者数＝母子保健推進員、保健師 開催(配布)予定数＝3回(予定)6月,7月,11月

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	19,50-55,66	<p>第6回子育てピア支援者養成セミナー</p> <p>目的・内容＝目的：地域で親子に寄り添い子育てをサポートする母子保健推進員等を育成する保健師等を養成し、母親の育児不安の軽減、虐待に至る芽を摘む理論と技術を身につける。</p> <p>内容：エンカウンター、ピアカウンセリング等の理論とスキルを実習中心に学ぶ。</p> <p>対象者及び対象者数＝保健師、保育士、行政母子保健担当者等</p> <p>開催数（配布数）＝1回（東京都新宿区で開催）</p> <p>効果＝母親に寄り添うスキルを身につけるとともに、受講生（保健師等）自身が本来に力を取り戻した。</p>	16,17- 19,34,35,39,50 -55,58,60-63	<p>母子保健啓発教材の制作・頒布</p> <p>目的：母子保健知識の普及、及び母子保健推進員活動の円滑な推進を図る。</p> <p>内容：母子保健知識の普及に必要な教材、及び乳幼児を持つ家庭への訪問時に必要な教材等を制作し頒布する。</p> <p>対象者及び対象者数＝市町村母子保健主管課</p> <p>開催（配布）予定数＝随時</p>
	7,9,10,15,19,34, 39,40,50- 55,58,62,63	<p>独立行政法人福祉医療機構(WAM)助成「母子保健推進員等の資質向上と組織育成事業」</p> <p>目的・内容＝目的：市町村が実施する母子保健事業、母子保健推進員等の組織、及び活動の実態について調査することにより、母子保健推進員等の活動が認知され活性化することにより、安心して楽しく子育てができる地域づくりに寄与する。</p> <p>内容：母子保健推進員等の組織及び活動実態調査（全国1811市町村母子保健担当課に調査票を送付）、母子保健推進員等を対象とした研修会、及び現地調査の実施（9箇所）、マニュアルの制作・配布（A4判96頁）、リーフレットの制作・配布（A5判変形）、報告書の制作（A4判80頁）など。</p> <p>対象者及び対象者数＝母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等</p> <p>開催数（配布数）＝実態調査：1377市町村より回答（76%）、研修会・現地調査：全国9箇所、マニュアルの制作・配布：2,000部、リーフレット：100,000部、報告書：200部</p> <p>効果＝市町村における母子保健事業、乳児家庭訪問事業、母子保健推進等の組織と活動及び資質向上事業、充実していくべき方向性を示唆することができた。</p>	9,10,15,19,34,3 9,40,50- 55,58,62,63	<p>独立行政法人福祉医療機構(WAM)助成「母子保健推進員等の資質向上と組織育成事業」</p> <p>目的・内容＝目的：母子保健推進員等の組織育成と活動しやすい環境づくりの支援を行うことにより、母親の育児不安の軽減、虐待の防止につなげる。</p> <p>内容：母子保健関係者研修会開催、訪問活動に有効な教材の制作・配布、ホームページの開設等</p> <p>対象者及び対象者数＝母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等</p> <p>開催（配布）予定数＝平成21年5月～22年3月</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
日本周産期・新生児医学	17,18, 22,23,24	<p>学術集会「第44回日本周産期・新生児医学会」「第27回日本周産期・新生児医学会周産期学シンポジウム」</p> <p>目的・内容＝17・分娩時大量出血への対応。 18・各種の超音波検査。出生前診断をめぐる諸問題。周産期の倫理問題。 22・周産期医療の集約化と体制の構築。世界の周産期医療体制の現状。 24・助産師のキャリア発達。 対象者及び対象者数＝会員約6,000名 開催数(配布数)＝各1回開催 効果＝妊娠死亡の防止を分娩時の出血より情報を提供。満足できる妊娠・出産への支援を検査・診断・倫理の面から情報を提供。周産期医療の整備と機能向上を国内・国外の現状を紹介。助産師の養成や資質向上への取組みを紹介。</p>	17,18,24,	<p>学術集会「第45回日本周産期・新生児医学会」「第28回日本周産期・新生児医学会周産期学シンポジウム」</p> <p>目的・内容＝一般救急症の妊婦への対応システム、周産期医療システムと医療安全。 ・産科超音波診断、カンガルーケアの安全性、 ・医師確保と人的資源の有効活用。産科小児科が連携した医師養成プログラム。 対象者及び対象者数＝会員約6100名 開催(配布)予定数＝各1回</p>
性と健康を考える女性専門家の会	2.3.4.7.9.10.21.52	<p>総会リレーセミナー「知っておきたい女性とたばこの最新情報」「性感染症を防ぐために教師や生徒ができること」「ティーンズの生理&からだ&ココロ」「女性のためのヘルシー・キャリア」「障害を個性と考え、個性豊かな健康対策を」</p> <p>目的・内容＝当会の各プロジェクトの活動を紹介し、最新の知識を提供する。 対象者及び対象者数＝女性の健康に関心がある方、保健、医療、教育関係者 約100名 開催数(配布数)＝1回 効果＝活動について情報を提供し、各自の交流を深めた。最新の情報を得る機会になった。</p>	2.3.7.9.10.18.24.50.51.	<p>総会シンポジウム「ウィメンズヘルスを担う～看護職との協働」</p> <p>目的・内容＝女性の健康、周産期の母子の健康を守るために、看護職と保健医療福祉職がどのように連携すればよいか、実践例を基に考える 対象者及び対象者数＝女性の健康に関心がある方、保健、医療、教育、福祉関係者 約100名 開催(配布)予定数＝1回</p>
	24	<p>近畿支部講演会「対人援助に必要なコミュニケーション術」</p> <p>目的・内容＝対人援助サービスを行なう専門職が対象理解のためのヒントを得、自分自身も元気になる 対象者及び対象者数＝女性の健康に関心がある方、保健、医療、教育関係者約100名 開催数(配布数)＝1回 効果＝助産師をはじめとする保健医療職が現場で遭遇するコミュニケーションの課題解決のために学ぶことができた。</p>		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	すべて	Women's Health and Sexuality ニュースレターの発行 目的・内容＝会員に女性の健康、性の健康に関する情報、当会の活動、会員の活動を知らせる。 対象者及び対象者数＝会員 約500名 開催数(配布数)＝3回/年 効果＝催しに参加できない地方会員への情報伝達、会員の近況、書籍の紹介など女性の健康に関する多面的な情報収集ができる。		
日本糖尿病・妊娠学会	18	満足できる妊娠・出産への支援 目的・内容＝・妊娠糖尿病に関するスクリーニングと妊娠糖尿病にかかった人の分娩後の糖尿病への進展率のフォローアップスタディ ・糖尿病妊婦から生まれた奇形児を少なくするため計画妊娠を励行させる。 ・特に我が国では若年者の糖尿病でも欧米と異なり2型糖尿病が多く、見逃されることが多いので、妊娠前から糖代謝異常のチェックを行う必要性を知ってもらう努力を行う。 ・「糖尿病から母児を守ろう」キャンペーンを11月14日の週の糖尿病週間にて実施 ・「糖尿病合併妊婦および妊娠糖尿病における血糖コントロール指標としてのグリコアルブミンに関する検討」調査研究の実施 対象者及び対象者数＝平成20年11月28日、29日「第24回日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会」開催、高崎シティギャラリーコアホール(群馬)、約200名参加(専門職対象) 開催数(配布数)＝1回開催 効果＝糖尿病と妊娠に関する学理およびその応用の研究についての発表、知識の交換、会員相互の交流、情報等の提供、啓蒙活動を行うことにより、糖尿病およびこれに準ずる病態を有する妊婦の管理とその児の安全性確保等の進歩に成果をもたらした。	18	満足できる妊娠・出産への支援 目的・内容＝・妊娠糖尿病に関するスクリーニングと妊娠糖尿病にかかった人の分娩後の糖尿病への進展率のフォローアップスタディ。 ・糖尿病妊婦から生まれた奇形児を少なくするため計画妊娠を励行させる。 ・特に我が国では若年者の糖尿病でも欧米と異なり2型糖尿病が多く、見逃されることが多いので、妊娠前から糖代謝異常のチェックを行う必要性を知ってもらう努力を行う ・糖尿病と妊娠に関するQ&Aホームページコンテンツ、小冊子の充実 ・「糖尿病から母児を守ろう」キャンペーンの拡大 「糖尿病合併妊婦および妊娠糖尿病における血糖コントロール指標としてのグリコアルブミンに関する検討」調査研究の実施 対象者及び対象者数＝「第25回日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会」開催、平成21年11月19日、20日、四日市都ホテル、約300名参加予定 開催(配布)予定数＝1回
日本母乳哺育学会	23,24,58,62	母乳哺育学会学術集会 母乳哺育学会勉強会 目的・内容＝母乳栄養の普及を高めるための科学的根拠を集約し、その拡大を図ること。母乳育児中に起きる大壇の発見と取扱について 対象者及び対象者数＝一般および専門家(医師、保健師、助産師、看護師、他) 開催数(配布数)＝1回	18,24,5562,66	母乳哺育に母乳マッサージは必要か 目的・内容＝母乳哺育を行う上で一般行われる母乳マッサージは必要性について科学的な検証について勉強する 対象者及び対象者数＝会員など150名程度

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
全国母子保健推進員等連絡協議会	17-19,22,24,28,45,50-55,	<p>「平成20年度健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)」の後援</p> <p>目的・内容＝目的:健やか親子21の推進、母子保健知識の普及啓発、地域母子保健事業の推進を図るための同大会に後援。</p> <p>内容:功労者表彰(厚生労働大臣表彰、本会議表彰等)、特別講演「最近の母子保健を取り巻く状況と母推活動への期待」、シンポジウム「母子保健推進員等の活動の実際」等。</p> <p>対象者及び対象者数＝保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等1500名</p> <p>開催数(配布数)＝1回開催(福岡県)</p> <p>効果＝講演、シンポジウムを通して家族の心の支えあい、安心・快適なお産等について考えるとともに、地域母子保健活動に功績のあった個人・団体を表彰、本人及び仲間に喜び、自信、意識の向上となった。</p>	15,16,18,19,31-35,43,44,50-58,60-63,66	<p>「全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会・意見交換会」の開催</p> <p>目的:母子保健推進員の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつながることを目的とする。</p> <p>内容:全国の母子保健推進員の活動報告</p> <p>対象者及び対象者数＝厚生労働省母子保健課、自治体母子保健担当者、母子保健推進員、関係団体代表等200名</p> <p>開催(配布)予定数＝1回開催(静岡県)</p>
	17-19,50-55,61,62,64,66	<p>「全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会・意見交換会」を(社)母子保健推進会議と共催</p> <p>目的・内容＝目的:母子保健推進員の活動を周知することにより、母推活動への理解を深め、子育て中の親の育児不安の軽減等へつなげる。</p> <p>内容:厚生労働省による最近の母子保健の動向と母推活動への期待、市町村で行われている母子保健推進員活動の報告等。</p> <p>対象者及び対象者数＝行政母子保健担当者、関係団体、母子保健推進員協議会代表等200名</p> <p>開催数(配布数)＝1回開催(福岡県)</p> <p>効果＝母子保健推進員活動の周知は子育て中の親子への支援につながるとともに、全国から関係者が集まることで意見交換の場となり意識の向上にも繋がった。</p>	5,15,16,18,19,31-35,50-58,60-63,66	<p>「母子保健推進員研修会」「母子歯科保健研修会」への後援</p> <p>目的・内容＝目的:市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。</p> <p>内容:虐待予防、子どもの生活リズム、親と子のかかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマに講演、シンポジウム、活動報告。併設して開催の乳幼児の発達と口腔ケア等をテーマの母子歯科保健研修会を後援</p> <p>対象者及び対象者数＝母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,150名程度</p> <p>開催(配布)予定数＝12回開催(佐賀県・山口県・長野県・富山県・長崎県・熊本県・群馬県・鹿児島県・静岡県・白井市・沖縄県・栃木県)</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	5,15,16,18,19,28-35,50-55,63,66	「母子保健推進員研修会」の後援 目的・内容＝目的：母子保健推進会議と開催県が共催する同研修会に後援し、市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図ることを目的とする。 内容：虐待予防と支援、子どもの発達と親と子のかかわり、母子歯科保健、食育の推進、「生後4か月までの全戸訪問事業」、早産予防、授乳・離乳の支援、活動報告等 対象者及び対象者数＝母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,540名 開催数(配布数)＝12回開催：山口県・佐賀県・富山県・長崎県・長野県・熊本県・鹿児島県・群馬県・福岡県・沖縄県・栃木県・豊田市 効果＝母子保健推進員の資質の向上と他市町村の母子保健推進員・保健師等の連携を深めることに寄与。当研修会で学んだこと、得た情報は、日々の活動に即、役立てられている。	5,16,17-19,30-35,43,44,50-56,60-63,66	「地域母子保健福祉情報紙—母推さん—」制作への協力 目的・内容＝目的：母子保健推進会議が発行する同紙の制作に協力し、地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声などを掲載。 対象者及び対象者数＝都道府県・保健所・市町村・関係団体等毎月10,000部発行 開催(配布)予定数＝12回(毎月1回1日発行)
	18,26,27,52,55,66	「母子保健・健全育成住民会議」の後援 目的・内容＝目的：住民が主体的に参加することにより、その地域における子育ての問題を洗い出し、情報の共有と連携を図る。 内容：地域における子育て支援の講演など 対象者及び対象者数＝母親・父親の代表、母子保健推進員、保健師、保育士等400名 開催数(配布数)＝1回開催(和歌山県) 効果＝子育てにかかわる人が一堂に会することで表出する課題を共有し、新しい情報を得ることができた。	15,16,17-19,28-32,43,44,50-55,61	海外からの視察団の受け入れ・交流 目的・内容＝目的：日本の地域母子保健活動、及び母子保健推進員活動の経験を途上国へ伝え、対象国の母子保健水準の向上に寄与するとともに、日本の母子保健推進員等が日頃の活動を客観的に見つめ直し、意識の高揚につなげる。 内容：国際協力機構、(社)母子保健推進会議に協力し視察団を受け入れ、母子保健事業ならびに母子保健推進員活動の実際を紹介すると同時に、視察団と各県母子保健推進員等との交流を図る。 対象者及び対象者数＝中米からの視察団等 開催(配布)予定数＝6月、7月ほか
	5,16,17-19,30-35,43,44,50-56,60-63,66	「地域母子保健福祉情報紙—母推さん—」制作への協力 目的・内容＝目的：母子保健推進会議発行の同紙制作に協力、地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：厚生労働省、専門職、会員団体による情報提供、地域母子保健活動の実際、本会議主催研修会の報告など。 対象者及び対象者数＝都道府県・保健所・市町村・関係団体母子保健主管課へ毎月10,000部発行 開催数(配布数)＝12回(毎月1回1日発行) 効果＝行政、専門職からの情報、地域における母子保健活動の実際を広く掲載し、母子保健推進員等の学習、情報収集のツールとして日々の活動に役立てられている。		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	7,9,10,15,17-19,28-32,43,44,50-55,61	海外からの視察団の受け入れ 目的・内容＝目的：地域母子保健活動、及び母子保健推進員活動の途上国への普及、ならびに母子保健推進員等の意識の高揚を図る。 内容：国際協力機構、(社)母子保健推進会議に協力し視察団を受け入れ、母推活動を紹介するとともに交流を図った。 対象者及び対象者数＝リプロヘルス指導者セミナー：山口県、BCCセミナー：沖縄県、母推：和歌山県 開催数(配布数)＝3回 効果＝主に途上国の母子保健関係者に母推活動を紹介、母推が発足した国もある。日本の母推も日頃の活動を客観的に見直す機会となり意識の高揚に繋がった。		
日本生殖看護学会	24,26	第6回 日本生殖看護学会学術集会の開催 目的・内容＝メインテーマ：カップルの親密さ～危機を乗り越えるための方略～ 会長講演：「カップルの親密さを考える：自己表出を促進するケアを目指して」 講演：「カップルの親密さとがん医療におけるサバイバルの現状」 対象者及び対象者数＝看護専門職者および医療職者 開催数(配布数)＝期日：7月20日(日)9:30～17:30 ※受付開始9:00～ 会場：兵庫県立大学 明石キャンパス(〒673-8588 兵庫県明石市北王子町13-71) 効果＝不妊看護の実践や研究等の最新情報を共有することで、さまざまな背景を持つ対象者への援助のあり方を考える機会となったとともに、不妊看護に携わる看護者間の交流を図ることでネットワークづくりも推進できた。	24,26	第7回 日本生殖看護学会学術集会の開催 目的・内容＝メインテーマ：文化の視点から生殖看護を考える－会長講演：「ルーラル地域における生殖医療従事者の役割とネットワーク」 特別講演：「生殖医療と身体－文化とテクノロジーのはざまで－」 対象者及び対象者数＝看護専門職者および医療職者 開催(配布)予定数＝9月13日(日)9:15～17:30、会場：三重県立看護大学
	24,26	平成20年度生殖看護実践セミナー 目的・内容＝テーマ：不妊治療後に妊娠した夫婦への継続的支援 対象者及び対象者数＝看護専門職者 開催数(配布数)＝7月19日(土)13:30～兵庫県立大学 効果＝当事者の体験談と医療者への要望および不妊治療施設と妊娠・分娩管理施設の現状と課題についての情報を下に、参加者間のディスカッションを通して理想的な継続支援のあり方を共有できた。	24,26	平成21年度生殖看護実践セミナー 目的・内容＝テーマ：「生殖医療における倫理を考える」 対象者及び対象者数＝看護専門職者 開催(配布)予定数＝8月9日(日)14:00～16:30 場所：埼玉県立大学保健医療福祉学部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	24.26	各地域で開催される不妊看護の勉強会の支援 目的・内容＝不妊看護の教育・研究の機会と場を提供することで、継続的な研鑽を図るための支援を行う。 対象者及び対象者数＝看護専門職者 開催数（配布数）＝各地域で行われる勉強会の支援 効果＝認定看護師が中心となり、各地域において不妊に関わる看護師間の連携を深め、また講義や事例検討から対象者の理解や支援のあり方について理解を深めたことで、参加者の資質の向上につながった。	24.26	各地域で開催される不妊看護の勉強会の支援 目的・内容＝不妊看護の教育・研究の機会と場を提供することで、継続的な研鑽を図るための支援を行う。 対象者及び対象者数＝看護専門職者 開催（配布）予定数＝各地域で行われる勉強会の支援
	24.26	不妊看護に関するニュースレターの発行 目的・内容＝学会員相互の連携を図り、学会員の募集や、勉強会やセミナー等の情報提供を行う。 対象者及び対象者数＝看護専門職者で本学会員 開催数（配布数）＝年4回、会員数分を配布予定 効果＝不妊に関する最新の情報提供が行われ、看護師の質の向上に向けた活動ができた。また、生殖補助医療特有の医療過誤について、実際に発生した問題を基に生殖医療チームの一員としての自覚を促し、再発防止策を会員間で共有する機会とした。	24.26	不妊看護に関するニュースレターの発行 目的・内容＝学会員相互の連携を図り、学会員の募集や、勉強会やセミナー等の情報提供を行う。 対象者及び対象者数＝看護専門職者で本学会員 開催（配布）予定数＝年4回、会員数分を配布予定
	24.26	日本生殖看護学会誌の発行 目的・内容＝不妊看護の教育・研究の成果を発表する機会を提供し、学会員のその成果を広めることで看護ケアの質の向上を図る。 対象者及び対象者数＝看護専門職者で本学会員 開催数（配布数）＝年1回、会員数分を配布予定 効果＝学会員の不妊看護実践・研究成果を報告することで、看護ケアの質の向上に結びつき、さらに不妊看護者の自己研鑽のための意欲を引き出した。	24.26	日本生殖看護学会誌の発行 目的・内容＝不妊看護の教育・研究の成果を発表する機会を提供し、学会員のその成果を広めることで看護ケアの質の向上を図る 対象者及び対象者数＝看護専門職者で本学会員 開催（配布）予定数＝年1回、会員数分を配布予定

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	19.50.51.52.53. 54.55.56.57.58. 61.66,67	「FOUR WINDS乳幼児精神保健学会 学会誌」創刊号の発行 目的・内容＝第11回学術集会（栃木）で招聘したFlans Plooi氏と渡辺久子（会員）の講演を中心に編集した。特集として世界乳幼児精神保健学会（08.8.1～8.5横浜市で開催）を組んだ。参加できなかった会員に対する学会の共有を目的とした。 対象者及び対象者数＝会員 390名 開催数（配布数）＝約400部 効果＝学術集会及び世界乳幼児精神保健学会での講演内容を詳細に掲載することにより、参加できなかった会員に学会の空気を感じてもらうことができた。		
	19.50.51.52.53. 54.55.56.57.58. 61.66,67	「NEWS LETTER of FOUR WINDS」Vol.11.12.13の発行 目的・内容＝今年度中に3回開催された幹事会での決定事項を会員にリアルタイムで伝える。 対象者及び対象者数＝会員 380名 開催数（配布数）＝1回380部×3回計1140部 効果＝幹事会においての議事内容を会員に知らせることにより、学会としての課題や方向性などを知ってもらうことができた。		
日本未熟児新生児学会	22,30	日本未熟児新生児学会学術集会 目的・内容＝新生児医療の向上、新生児死亡の防止 対象者及び対象者数＝全会員（約3000名） 開催数（配布数）＝2008年10月30日（木）～11月1日（土）開催	22,30	日本未熟児新生児学会学術集会 目的・内容＝新生児医療の向上、新生児死亡の防止 対象者及び対象者数＝全会員（3,000名） 開催（配布）予定数＝11月29日～12月1日に開催予定